

平成22年 5月11日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19790906

研究課題名（和文） MALT リンパ腫における末梢血腫瘍マーカーの検討

研究課題名（英文） Examination of tumor marker for MALT lymphoma

研究代表者

末藤 大明 (SUEFUJI HIROAKI)

久留米大学・医学部・助教

研究者番号：00320200

研究代表者の専門分野：放射線治療

科研費の分科・細目：内科系臨床医学・放射線科学

キーワード：マルトリンパ腫

1. 研究計画の概要

MALT リンパ腫は悪性度の低いリンパ腫とされているが、その病勢を示す基準となるものがしられておらず、腫瘍マーカーの検討を行うこと。

2. 研究の進捗状況

(1) MALT リンパ腫の新規症例患者に同位の上、末梢血液中の CD20/CSCR3 陽性細胞を治療前後でみることで、治療効果をみる一助になると仮定し、症例の蓄積を行ってきた。当初 100 例程度の症例を見込んでいたが、年に 10 例程度の新規症例しかなく、予定症例数に達することが困難を極めている。

併せて行ってきた研究で、胃 MALT リンパ腫で長期にわたる全身再燃が 20%程度怒ることを発見し、平成 21 年度科学研究費補助金基盤研究 (A) 早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究の全体会議や第 65 回日本医学放射線学会などにて報告している。これらは、今回推察している末梢血液中に MALT リンパ腫を引き起こす原因があるという仮定に合致する臨床兆候であり、解析を進めている状態である。

(2) 過去の MALT リンパ腫症例を解析し、末梢血中に投与した glucose 様物質が悪性度と相関するかを併せてみていく方針とした。具体的には、FDG-PET をうけた新規症例を元に、FDG の集積度合いと生検組織による細胞学的悪性度との相関をみることでできないかを併せて検討している。現在当施設で PET 検査を受けた 1000 例以上の症例から、当院で生検から治療までうけた悪性リンパ腫症例約 200 例の FDG 集積度合いを全例測定している。また、MALT リンパ腫では細胞の形態学的悪性度が腫瘍細胞のサ

イズとされるが、各症例のもつ glucose transporter と集積度が相関するかを含めて、免疫染色を行うため、連日検体ブロックから標本作製に勤しんでいる状況である。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

原因としては、申請時点と比して、久留米大学を受診される MALT リンパ腫の新規症例数の減少につきる。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 当初予定していた研究に関しては、非常に良好な結果を得る可能性が高いと感じており、予定症例まで研究を継続する予定としている。

(2) 当初予定した研究自体が期間中に完遂出来ない可能性に対して、対応を既に始めている。本研究本来の目的である末梢血液を介した MALT リンパ腫の悪性度をみるという目的をかなえる研究を開始している。一般的に PDG PET の集積度合いは細胞学的悪性度に相関することが知られているが、MALT リンパ腫では集積がほとんどないと言われていた。当施設での PET 例を見返してみると、FDG 集積度合い (FDG MAX) が 5 程度認めている。また、MALT リンパ腫の細胞学的悪性度の指標としては形態的大きさのみが知られているが、この大きさと FDGmax の相関性を検討することを最低限度の目的としている。さらに、細胞内への glucose やその類縁物質である FDG 取り込みには glucose transporter が存在していることが知られているが、そのうちの GLUT1 GLUT3 GLUT4 の発現度合いとも関連性をみるために、標本作製を現時点で連日行っている。

[その他]

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計5件)

① 末藤大明ら 胃悪性リンパ腫放射線治療の長期観察結果 第69回日本医学放射線学会総会 横浜 2010.4.8-11

② 末藤大明ら 後期高齢者非ホジキンリンパ腫に対する放射線治療 日本放射線腫瘍学会 第21回学術大会 札幌 2008.10.16-18

③ Hiroaki Suefuji, et.al. Late gastric toxicity after whole stomach radiotherapy in the gastric malignant lymphoma: multi-institutions study in japan. European Society for therapeutic radiology and oncology (ESTRO27), Goteborg, Sweden 2008.9.14-18

④ 末藤大明ら 胃悪性リンパ腫放射線治療後の胃晩期障害について: アンケート調査報告 第67回日本医学放射線学会総会 パシフィコ横浜 2008.4.4-6

⑤ 末藤大明 27年の時を経て発生した?NK/T cell lymphoma, nasal typeの一例 第22回悪性リンパ腫治療研究会、岡山、2007.2.18

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別: